

## 第6章

# 介護の制度・サービス

松本 真由子

### はじめに

山科区社会福祉協議会、山科デイサービスセンターの協力を得て、山科区の独居高齢者に対してインタビューを行った。1時間程度のインタビューの中から私は制度やサービスについての語りを拾い、まとめを行う。下に示す表では、インタビューを通して分かった調査対象者が利用中のサービスをまとめてある。私が実際に行かせて頂いたのは3件だが、貴重なお話を聞くことが出来た。他の仲間のデータも合わせて計16件のデータを参考に、各制度、サービスごとにまとめを行う。

事業名／調査対象者	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
デイサービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホームヘルプサービス		○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○
給食サービス			○				○			○						
緊急通報装置					○		○			○						
ケアマネージャー		○	○				○			○		○				
ゴミ出しサービス		○								○		○				
特別養護老人ホーム、 有料老人ホーム		○					○									
病院、通院、往診	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○

※空白は、利用不明（調査時に発言なし）を意味する。

## 1 どんな制度・サービスが語られたか

山科デイサービスセンターの協力を得て調査を行っているため、すべての対象者がデイサービス利用者である。また、調査員がデイサービスについて尋ねていることもあってか、デイサービスについての語りは多かった。デイサービスに並行してホームヘルプサービス利用者も多かった。病院への通院は月1回、1か月分の薬をもらいに行くというケースが多かった。

## 2 各制度・サービスについての語り

※語りの部分についての注意

- ・文頭のアルファベット→対象者
- ・“調” →調査員の発言
- ・“○○” は聞き取れなかったところ
- ・“…” は空白部分を示している。

### (1) デイサービス

語られることが多かったため、様々な意見があった。おおむね好印象を持っている対象者もたくさんいるが、自分に合わないという意見もあった。制度特有の欠点もあることが伺える。

#### ①食事

流動食が美味しくないという意見もあったが、美味しいという意見がたくさん見受けられた。味付けの美味しさもあるが、友だちと一緒に食べる美味しさもあるようだ。自宅で1人分の食事を調理するのはかえって高くつくため、助かるとの意見もあった。また、唯一の外出がデイサービスの昼食という対象者もいた。

#### 1) Aさん

A：おひたしとかそんなんでもええから家で食べるほうがええね。外出はもうし

てません。ほんで今は外食ゆうたらデイで食べるだけです。デイのはほんまに美味しいです。

調：美味しいですか？

A：ほんまに美味しいです。作ってもらうから余計美味しい。自分で作らへんから。味も薄いしねえー。ほんどあそこのおつゆはしまし汁でおつゆが美味しいんですねん。ほんで、それで、そのおつゆで何か作らるからねえ、しなもんは味が美味しいんですねん。

それでお肉でもこまこーにミンチみたいに切って。でもこんど職員さんにしたらたよんないってゆうてはるけどね。やっぱし私らに合わせて、その介護者も食べてはるからねえ。でも、美味しいですよ、やっぱし。

調：はあー。結構楽しみになってる

A：楽しみ、楽しみ。楽しみ。結構お肉とあの、お魚と卵、行くたんびに大体付いてます。せやから家ではお魚と肉は全然。作らないし、買わないし。

(省略)

調：一人で作って一人で食べてるっていうのもねえ。

A：せやねえ、わびしいねえ。

調：わびしいですか。

A：あははは。でももう慣れたから。

調：そういう意味で言うとデイサービスとかで食べるほうが…

A：そりゃ美味しいですねえ。それであの、人としゃべるでしょ？

調：あ、はい。

A：デイサービスの1日は早いですねん。

## 2) Hさん

H：(省略) デイサービス行ったかてねえ、全部食べます。うん…やっぱし皆と一緒にやったら食べて、食べられるんやね。一人だとねえ、やっぱし、食欲がわかへんちゅうのか、家族がいたらそれで食べられるんやけどねえ。…一人暮らしはもうあんましねえ、食事は進ましませんねん。(省略)もう今までねえ、全然嫌いって食べへんどもんでもね、デイサービス行ってから出たら食べます。

…うん、もう今なんでも食べるようにねえ、残さんようにしてますねん。残したら悪い思うてね（笑い）食べるようになりましたわ。

調：おいしいですか、デイサービスの食事は。

H：うんおいしいです。うーん、おいしいですしね、全部食べられます。

調：人気ですよ、デイサービスのご飯。…そう味付けがちょうどいいとかねえ。

H：うん、ちょうどいい、皆の食べられるような味にしてくれてはんねんねえ。  
…うーん、そやからねえ、おいしゅう食べられますわ。皆食べてはります、残す人つてねえ…、まあおかずちょっと、お魚嫌いな人はお魚残さはるけどね、まあそんな程度でね、うん、割に皆食べはるしね、うん、そう、おいしいからね、食べますわ。

## ②入浴

食事が好評な中、お風呂を目的に行くという意見もあった。体が不自由な上に、一人暮らしではお風呂に入るのが難しい。ホームヘルプサービスを併用していても、ヘルパーに入浴介助をしてもらっているという対象者はおらず、入浴はデイサービスで済ますことが多いようだ。

### 1) Nさん

N：足が悪いのは大変なんや。ほって今はあれで、あっこのあれで、風呂をな。あれに入っとる。あれな、1週間に1回な。

調：あの車のやつですよ。

N：ああ、車の。デイサービス。あれ、あれは1週間に1回やろ？

調：ふん。じゃあ、デイサービスには1週間に1回行って

（省略）

N：で、向こうのそこ、今行ってるとこはな、お風呂がええねん、ものすごな。わしはお風呂入りたいために、行ってるとこ。そこにいとる。大概のとこはな、お風呂はちっちゃいちっちゃい。

## 2) Oさん

調：お風呂とかも入られるんですか、デイサービスで。

O：もちろん、まあ目的はお風呂の…

調：ああそうですか。お風呂はなかなかいいもんですか？気持ちいい？

O：うん、あのねー。設備は、あー、ちょっと変わってるわな。個室になって、  
ほて1人だけが入れるだけのね、浴槽で、ぐーっとベットのまま、そのまま  
入れるやつや…。

## 3) Lさん

L：きれいにしてくださるよ。お風呂でもね。頭洗って、体洗って、ようあんな  
きれいにしてくださると思う。

調：広い浴槽に入れてもらえるんですか？

L：うんうん。ちゃんときれいに、ちゃんとしてくれはる。うん。

調：髪の毛とかも？

L：みんな順次、車椅子のまま入ってる方もいるしね、お風呂に入る車椅子で入  
ってくる人もあるしね。もうお風呂入るのが楽しみやね。ご飯もおいしいけど。

## ③レクリエーション

山科デイサービスセンターでは色々なことができるという声を聞いた。職員やボランティアが工夫を凝らしてレクリエーションを行っている証だと思われる。ただ参加したくても、体が不自由であるために参加出来なかったり、利用者自身の趣向によって参加するか否かが決まるようだ。特技を生かして川柳を詠んだり、木目込人形を教えたりしたという対象者もいた。

## 1) Pさん

P：そんなんとかね、あの一、今行ってるデイは美術の先生がおられるんです。  
…うん。それでね、いろんなことをさしてくれはるから退屈しないんですよ。  
美術の先生おられなかったら何ももう、ね。こういう手芸ぐらいはできて  
もねえ。あの、絵とか、であの一、張子？そんなんとか、あの一、もういろ

んなことさしてくれはるから。デイ行くのが、楽しみでねえ、うん。すごい、本とに。私は力あんまりないから手先がね、力入らないからあれですけどねえ、もう、張子でももう一、大きなこんな象さんとか作ってはる方もおられるんです。…うん、すごい時間かかるんやけどね、根気の要る仕事やけど。すごい、楽しいしねえ。

## 2) Gさん

G：そんなのであの一、あれです、デイの方にね、まあ、まあまあ、あの一、こんなあの一、出来たら楽しいよーゆうてね、してほしたら、5、6人希望者がありましてね、また利用者の方がちょっと一人たりですけどねえ、あとはもうお手伝いに来はる人がねえしはって、今だに、あの一、鳥から教えたと思うから、あの一、ねえ、鳥やったらもうちょっとですけどねえ、もう自分自身揃いましたから、もうその世話だけで、その、また今年も暑いさかいにできひんわーってゆうてはるけどねえ。へっへっへっへ。

調：はははは。

調：デイの方々に教えてらっしゃるんですね？

G：教えて、そのねえ、それを、それでこれを痛めたんですわ。

(省略)

G：趣味はなんぼでもあるんやけど、手が悪いもんやからね、でけへんです。今もね、(デイで)なんかコースターのね、毛で作ってね、この木の葉のやらね、円いのやら、コースター、今度の次の週でやんねんけど、もう、色んなあれがあるんですよ、あのマージャンする人やらね、それから体操する人やらね、習字の人やら、色んな人があるんですよ。

(省略)

調：昨日ね、マージャンはやってたって言ってた人はいました。

G：ここでもいらっしゃいますよ。

## 3) Fさん

F：ネジかけたらね。亀のネジ。…ウサギはここにいるし。この刺子でね、デイで、

デイで、さしこやらしてもらったり。週…月に一回こういうの選べるデイがあつてね、したいことするの。

調：最近は何されたんですか？

F：最近はゲームだからね、今週はゲーム。明日…明後日はゲーム。ほんでその次は敬老のアレだから、踊りにきてくださるの、ボランティアでね。結構楽しい。

(省略)

F：デイは、週に2回だけだから、お風呂に入れてらつて、入れて、食事して、ほんで、なんかあのゲームをして、ほんでカラオケをして…

調：カラオケ？

F：結構カラオケ、上手い言うたらおかしいけど、デイにいつてからカラオケするように、

(省略)

F：だから結構、楽しいですよ。このごろこそ、ちぎり絵もしないけど…まだ、こんなん書いてるときは、楽しかったけど。もう…暇があつても、絵書く気にもならないし…デイに行つても、一年目くらいの時はね、大きな絵を描いて。見ていただける？

調：はい。

(隣室から絵をもってくる)

F：最初、何かと思つたら、職員さんが…

調：(絵を見て) あつ、すごい。

F：これ、ちぎり絵。

調：ちぎり絵。すごい。これ、みんなでやるんですか、それとも一人でやるんですか？

F：私が一人でやる。

調：一人でやつたんですか。お時間かかりますよね？

F：一か月以上かかった。

調：ですよね。

F：だって週に二回だもん。でもこれやるとき楽しみだった。

4) Nさん

調：デイ、デイサービスやったらお風呂以外でも時間があるじゃないですか？

N：うん。

調：そういう時間

N：メシやとかゲームやとかなんやかんや、やっとなるやな。そんなん参加せえへん。

調：ああ、そうですか。

N：じつとこうやって寝とるねん。

5) Lさん

L：カラオケで歌うのが楽しみでね。デイサービスで。

調：何歌われるんですか？

L：私はね、アザミのね、アザミの歌

調：アザミの。

L：後は『娘よ』

調：ああ。『娘よ』は知ってます。

L：色々歌うけどそれよ。昔の歌しか知りませんよ。みなさん昔の人間ばっかりやからね。あ、みんないてる人はね。だから月曜日と木曜日はだいたい。カラオケ好きな人はそこに集まってね。

#### ④その他

デイサービスの主な取り組みである食事、入浴、レクリエーション以外の語りの中では、デイサービスに対する様々な意見が出てきた。デイサービスを利用するようになってから話すようになったという対象者や、生活にリズムが出来るという意見があった。「もっと行きたい」と言う対象者もあり、少し驚いた。話を聞いていると満足している人はデイの中に友達がいたり、役割があったり（洗濯係など）というケースが多かったように思う。

満足しているとの声も多かったが、不満を口にする場面もあった。他の利用者と気が合わないなどの個人的な不満もあったが、制度の構造から生じる問題に対する不満が見られた。融通が利かなかつたり、利用者の人数が多く



て職員が大変そうだという意見である。自分のためだと思って出来るだけ自分の力でやっているという人も中にはいるが、QOLの向上を図るという側面から課題であるといえる。また、お金の余裕がないという意見や男性の利用者が少ないということも分かった。

## (2) ホームヘルプサービス

対象者の多くがデイサービスと共にホームヘルプサービスを利用していた。ヘルパーには買い物や掃除、洗濯などをしてもらっていた。助かっているという意見もある中、ケアプランに記載されていないことは出来なかったり、時間が決められているなどの制限もあり、不自由さを感じている対象者もいた。また、複数日利用の場合、曜日によって違うヘルパーが訪問するという話を聞き、驚いた。

### 1) Gさん

G：そうですね、ゆっくり過ぎてから、なんか日曜日と月曜日と、月曜日も誰もねえ、ヘルパーさんも。あ、ヘルパーさん来はるんやわ、月曜日。だけど、日曜日はまるまるあれやさかい、日月とはヘルパーさんが午前中ですし、あのものすごく長く感じますねえ。

調：ヘルパーさんにはどんなことしてもらってるんですか？

G：いや、あの一、なんか決まりがあってねえ。自分の立ってる部屋だけ、台所と奥が寝室でそこおトイレ（をヘルパーが掃除）、お風呂は私、一人で入れんのです、これがあいてるからね。ほんで、おトイレと。ほんでここ、応接間もあの一、私が使うべくでなしにお人さんがみえたらここに、ここで喋ってもらったらいいんですけど、物置になってるんですよ。ほほほほ。

調：うん、うん。

G：あははは。そんなもんでねえ、もう、まあ、出日払いで決まってるんですけども、時々内緒であの一、あれですよ、こないだもねえ、何を、あの、まあ他にいない時は別に押入れの方でも整理手伝ってもいいよっておっしゃって頂いたんですけどねえ。話ばかりしてもらいますけどねえ。

(省略)

調：で、買い物場合はこれをどこで。もう全部（ヘルパーに）おまかせですか？

G：あの、あの一品物だけで、メモしてもらって、ほして、もう、大概、あの一、マチヤですか、あそこらへんでこうてきますけど。あの一、私は西友がカードでね、カードで買いますと、現金持って行かんで済むし。あの、ポイントにもなりますし、それ、始めしてもらってたんですけど、あのなんか止められたらいいですわ。

(省略)

調：はははは。ヘルパーさん来てる時はヘルパーさんとお話も出来ますよねえ？

G：出来ます、出来ます。あのねえ、今の方は仕事しながらでも喋ってくれはるさかいに1番楽しい方ですけどねえ。せやけど喋りかけたらねえ、立ってねえ、私の喋りが終わるまで立っててはる人もおるからねえ。せやから

調：3人も違うんですか？

G：違うんです。違うからねえ。

## 2) Pさん

P：そのことが一番不安ですな。どうしたらいいのかなあと思って。で、こないだもケアマネさんに聞いたら、結局は家で、自宅でヘルパーさんを増やして、来てもらって、あの一、暮らすしかしょうがないみたいなことをね、言われたから…。そしたらヘルパーさんて時間がねえ、終わったら帰られますよね。24時間付いてくれはるわけじゃないし。看護師さんでないし、まあやっぱりそれも不安やし、どういう風にしたら、そういうとこに入れるんかなと思ってね。やっぱり一番ん望むのは、そういう施設を増やしてほしいなって思うんです。

## 3) Dさん

調：デイサービスとか、ヘルパーさんであつたりとか、何かもうちょっとこうなつたらいいのになって思うことはありますか？

D：そやなあ…私あの…ヘルパーさんが気の毒で。なあ。次の家行くまでの間が、

時間のロスでしょう。うちの家すんで次行かへるまでの時間がロスになるからね。あんなんでも気の毒やおもう。いうたらそういう奉仕でやってくれてはんのやけど。

調：ヘルパーさんが来られたときはだいたいどんなことを？

D：だいたいお掃除が主。今は。洗濯は自分でしてるし、お買い物でも生協さんで間に合うときは断ってるし、ないかって言うてくれはってほしいものあったら買ってきてもらおうし。よう使いこなさんといつまでも貯めてあんのもあるよ。

調：なんかね、ヘルパーさんに気を遣われる方っていうのは多いかもしれないですね。家に 来てっていうのもあるかもしれないですけどね。

D：ヘルパーさんも大変やろうね。そやけど。

(省略)

調：変わりましたかね、生活は？利用する前とされてから、生活はかわりましたか？

D：うーん、そうやね、あんまり変わりもせんけど。

#### 4) I さん

調：あ、ヘルパーさんは「自分が洗うから置いといて」って？

I：うん。いっぱいになる。だから洗わないと次の食事に、お茶碗がなくなるし。

調：ゴミとかって、結構出ます？

I：いや、そんなに出ない。うん。分別するようになって、10リッターの袋がいっぱいにならんときが多いよ、結構。

調：ゴミは自分で捨てられるんですか？

I：ううん、捨てに行ってくれる。

調：あ、もう全部やったださるんですか？

I：逆に仕事がなくなって。

調：ああ。逆にね。

調：ああ、そうやんね。あまりやりすぎてもらうのも…

I：お内裏様みたい。

5) Lさん

L：手はもうだいぶよくなったけど、なかなか右の手が使えんと不便やなあって思いました。右の手。

調：じゃそのときはご飯も作れないですよね？

L：うん、まあね。ヘルパーさんが来た時に堅いものは切ってもらってね。

調：ヘルパーさんは週に何回？

L：1週間に1回。

調：1週間に1回？

L：うん。火曜日にね。手の痛いときには1時間にしてもらったんです。1時間で十分です。まあ家の中は狭いし。うふふ。掃除してもらってね。

調：吹き掃除？

L：うん、あれ…してもらうだけだから1時間もあればね。うん。一人やからそんな別にね、散らかってもないし

調：でも助かりますか？吹き掃除してもらったら。

L：ええ助かりますよ。掃除機かけてもらってね。トイレを掃除してもらったり、色々ねえ。してもらって。

6) Oさん

O：段があるでしょ？この…私があそこを歩いて単独でね、出入りできひんわけよ。一応車いすのね、この車いすは電動になってるのよ。うん。だから電動やからね、出入りはできるけども、ドアを閉めたり開けたり、でき…自由にできひんからね。誰か人手がいるわけですよ。そうなるとやっぱり、ヘルパーさんが昼と夕方に来るけども、時間的にね、限られた時間ですから…。そこに書いてないかな？ヘルパーさんが、えーとお昼と夕方2回…。昼は1時間かな、夕方1時間半かな、何かそんなような時間ですわ。昼はえーと、10時半から11…12時半ぐらいまでね。夕方は4時から4時半か…。1時間か1時間半ですわ。その間に何でもかんでも皆せないかん。せないかんでちゅうても自分がするんじゃない、ヘルパーさんがするんやけどね。今、ここにおったでしょ。あの人ヘルパーさん。毎日変わるからね。

調：ころころ変わるんですよね？何人ぐらいいらっしゃるんですか？

○：さあ…そこに書いてないですか？ドアに貼ってある…

調：そこに表が…。そっちに表があります、ちょっといいですか？よーっ…（表を取る様子）。これですね。おー1、2、3、4、5、6…

調：8人？8人、8人いらっしゃるんですね。

○：え？8人？はあ…。

調：1週間に8人…

○：はあ…。

調：すごいですね、8人も…。

○：まあ時間的にはね、限られた時間、これ書いてあるあれですわ。

（省略）

調：あのーちょっとあれなんです、ヘルパーさんって、話めっちゃ変わりますがけど、ヘルパーさんしゃべったりします？話すことってありますか？

○：話すことあるけどもねえ、そんな…自由なね、時間がないわけですわ。

調：もう何かしらこう…ずっとして？

○：時間にずっと刻まれて…。うん。

調：じゃあこういうこと話すってこともなかなかないってことですねえ。

○：そうそうそう。うん。そこへ向けてね、頭とか神経を煩わしてるから、よけい直下にてこないわけや。うん…。色々考えた末に、答えが出てくるわけや。直後話して、それが返ってくるわけでないし、またそれをすぐに返答するわけでもないし、難しいですわ。今でも限られた時間に限られたこととして帰ったでしょ？あれ、あの人の仕事やからね。それを私がこっちからあーせーこーせー言うのと、その時間内に思てることができないわけですよ。あかん、難しいわ…。

調：難しいですねえ…。

## 7) Nさん

N：介護士（ヘルパー）さんがやれへんことあるねんな。家の中のことはやってくれるねんな。な、住んでるところはやってくれるねん。ここ2階あるけど2

階はでけへんねんな。居住区じゃないから。

調：ああ。

N：な？ほって庭があかんねん。庭でもそこら草だらけで屋根の木がバサバサの、葉っぱがバサバサとおととって。庭でも葉っぱがブカーツとたまっとってん。で、それを整理すんのだけでもあれや、足痛いinna、大変や。やっ  
と後ろにバサバサとやってなんとか格好つけてるけれども。

調：なんかねえ、仕事が決まってますもんねえ。

N：え？

調：介護士さん、仕事が決まってるねえ。

N：あれなあ、便利なようで不便やで。

### (3) 緊急通報装置

緊急通報装置を設置している対象者もいた。あらかじめ緊急時の連絡手段を確保しておくことは、一人暮らしの高齢者にとっては非常に重要である。実際に利用したという対象者もあり、機能しているといえるだろう。出来るだけ頼らないようにしているという対象者がいたことが印象的だった。

#### 1) Gさん

調：他になんか利用されてることないですか？まあ、あの緊急通報の電話

G：あ、はあ。まあそれはもう、自分がそれこそ1番、さっきも言いました、お風呂場でねえ、お湯がすぐに便所よりお風呂場の方が早く出るさかい、お風呂場でこうしてからして、もう終わりにしよ思ったときに、とたんにねえ、外れてしりもちついてねえ、もうちゃちゃちゃちゃと水道も止められへんようになってねえ、ほんでそれでやっとしやくとりむしみたいに足ざりしてねえ、で、奥の間にそのベルがありましたんで

調：役に立ったんですねえ。

G：はあ、ほんでやっぱりつけてやんとあかんな思いましてねえ。ほんですぐ救急車が、山科の救急車が出まはって、左京から来てもらいましてねえ。

## 2) Lさん

調：寝るとこの近くに緊急の電話とか置いてます？

L：ああちゃんと置いてます。置いとる。前少し心臓が悪いときあったから、ちゃんとしてもらって置いてます。

調：それ電話したらどこにつながるんですか？

L：ちゃんと行くようになってとんでしょ。押したらすぐ、来てくれるようになってとんでしょ。それちゃんと設備してもらいました。ちゃんと。

## 3) Eさん

E：これなかったらね、おかげさんでね、市からこれ付けてくれてまんねん。

調：緊急通報のやつですか？

E：うん。

調：なんか押したらどっか行くんですよね？あの赤いの押したらね。

E：ここ、どこでも触ったら。ときどき手が当たる時があるんよ（笑）そしたら向こうから「Eさんどうしました？」って。ちゃんと通じまんねんな。ねえ。

調：おもしろい話ね、その上に猫が乗ったって。で、猫が乗ったら、電話かかってきて、「大丈夫ですか？」って聞いたら猫が「ミャー」って鳴いたって（笑）

E：あはははは。いや私もそんなこと2回ほどあったんや。手やったらね、ボタンあって「Eさん、どうしはりました？」って。「なにもしてへん。いやごめん、ちょっと手が当たって」言うて。「気付けてくださいよ。異常ありませんか？」って。

## 4) Mさん

M：私はね、消防のあれしたあるよ。もしあのね、気分悪くなってね、あのブザー押したらサザエさんっていうお菓子屋さんにつながるんですわ。そしたら救急車が来てね。まあ1人やから。

調：あ、付けてはるんですか？

M：それはね、ここのベッドのところにね、こうベッドのどこ来てひっくり返ってね、ぶら下げてる。そうするとね救急車来てね、まあ助かることもある。

調：そしたら安心ですね。

M：うん。それはね、誰かが（緊急ブザーのことを）言ってくれはったね。それも私習い事してたからね。そこであのお友だちできたんよ。で、その人と一緒にしゃべったらね「Mさん、こんな（緊急ブザー）あるんよ。私実はせなあかんわあ」って言いはって、で私もちょっと聞いてね、そしたら聞いてね、そういうののツテで聞いたらね、それは後でしますって。無料でね。まあ人間のことやから、達者やって思っても大怪我したり、そういうことに使ったら…誰か言ってくれはって、すぐ手続きしたらすぐしてくれはりましたよ。それはまあ利用しない方がいいけどね。それを利用して頼ってたら〇〇気がおかしくなったらどうしようどうしようって思ってね。

#### 5) Jさん

調：お母さん、あれは緊急通報のやつやね？（京都市の緊急通報装置を部屋に見して）

J：え？あ、そうそう。これ緊急。緊急で、全部これも…

調：つながってる。

J：台所もバーっと火が出たらシューっとするようなのもしてあるし、息子がなにもかもやってくれとる。

調：あーそうですか。あれ使ったことありますか？

J：ありません。ありません。あ！あるある一回だけ夜中になんや気分悪くなってきてね。呼んだけど、行ったけど、どうもなかった。病院行ったらもう治ってました。（笑い）

調：よかったね。

J：え？だからね…あれ、ね。

調：まーまー安心ですね。

J：安心ですね。そんで台所のあそこに、あれボタンぶらんとしてますやろ、あれ押したら…鳴るようにしてますねん。で寝室にもあるしね、ペンダントみたいなね、あるしね。ところが前ね、寝返りして無意識にそれ押してね、来たことがあってね、私あれ困ったわー。（笑い）



調：ごめんなさいって言うしかないですね。

(省略)

J：んーで、まあね押したらね、向こうまずねどうしましたって言わはんねん。  
でも無いですって…一年に一回テストに来はるしね。

調：猫飼ってる人がね、猫が押したんやて、どうしましたーって言ったら猫がミ  
ャーと鳴いたって。(笑い)

J：ごめんなさい！って言わな、やっぱりたまにあるらしいですわ。

調：消防の人がその話をしてね、びっくりした言うてました。何事もなくて良か  
ったんですけど、ミャーって。

J：それからもうこりごりでね、気い付けてますねん。でも一回だけ夜中になん  
や気分悪くなってきてね、なんかむかむかしてきてね。一回一人のとき押して、  
しましたけど。(笑い)

#### (4) 給食サービス

自分で調理せず、給食サービスを利用している対象者もいた。供給先による  
が、給食サービスの食事は健康に留意されていたり、土日正月も配達があ  
ったりして利用者の希望に沿ったサービスが展開されていた。想像以上に豪  
華なようだ。

##### 1) Gさん

調：お料理なんかはどうされますか？

G：料理はねえ、もうまた、全く出来へんのですよ。あの一、晩だけあの、あの、  
〇〇(施設名)から持ってきてもらって

調：毎日ですか？

G：はい、毎日。

調：土、日も？

G：はい。お正月でも頼んだら来てくれるんですよ。

調：給食サービスですよ？

G：あー。

調：1食500円くらいですか？

G：630円です。みな付いてますねえ、きれいに、お魚やかてんぷらやかおつゆとかそれから酢の物やとか、お吸い物やとかお漬物。

2) Jさん

J：これ献立表。割合ね…。こういろいろね。

調：あら、おいしそう。

J：そうよ。必ずちょっとフルーツが付いてね。

調：いいですね。

J：割合ね。私も…。ごはんかてこんだけ、残りますよ。

調：多いですね。

J：だから1/3は残るね。夜またこれとなんか。割合ね、おいしいの、ここの。ご飯が、割合、お米が割合おいしいのね、んー。私お米にうるさいから。米屋の娘やから。

3) Cさん

調：炊事とかはおてのものですか？

C：そんなんもう邪魔くさいでお弁当持ってきてもうてます、晩に。土日祭日は休み。

調：お弁当はどこから持ってきてもらうんですか？

C：なんちゅうとこやろ？ここに書いたりします。

調：〇〇（名称）っていうところなんだ。NPO法人。こんなところあるんですか？お弁当持ってくるんですか？

C：おかずだけ。ご飯は私が炊きますねん。

調：美味しいですか？

C：いや、これはね、減塩どすねん。私糖尿やから。ほんなら会合に行ったら同じもん2回食べたらあかん、3回食べたらあかん言うて。そんなもんこんだけぐらい作れやしませんやんか。ほんでもういいわと思て区役所行って…。

調：これ便利ですね。減塩とか健康に留意した食品が出てくるんやね。

## (5) ゴミ出しサービス

決まった曜日に自宅前にゴミを出しておくとかゴミを回収してくれるサービスが山科にはあるという。体が不自由であったり、デイに行く曜日と被ってしまったりして、自分ではゴミ出しが出来ないため、このサービスは助かっているという。

### 1) Lさん

L：だから普通のときやったらいいけど、雨が降ったときやと足が痛いから怖いんですよ。それをね、デイサービスの車が来るでしょ。だからそのとき、月曜日と火曜日をごみを捨てる日やから、そういうのできないんですよ。ちょっと持ってつてもろうたらいいなあって思うけどできないんです。

調：ですね、ちょうど違う。

L：うん。せやからそれはヘルパーさんじゃない、ケアマネージャーさんじゃない、ケアマネージャーさんか。なんか頼んでくれて、ちゃんと交渉してから、火曜日に2時から3時までに取りに来てもらえるようにしてあるんです。

調：ふうん。

L：助かる。ごみもビンも一緒に家の前に置いとったら、ちゃんと火曜日に、毎週火曜日に取りに来てくれる。

調：そういう風にちゃんとしてくれるんですね？

L：そやからよかったのうって。ビンと。ビンでもね。新聞だけはまた溜まったら表にヘルパーさんに持ってつとつて言うたら、ちゃんと持って行ってくれます。

調：ううん。ヘルパーさんが。

L：うん。ビンもあれも溜まったら家の前に置いといたらね。ちょっと坂下りるときになんかの時に、ひよっと坂でこけたら怖いからね。雨が降った日なんて滑ったらね。

### 2) Jさん

調：ゴミ出しなんかどうしてるの、お母さん？

J：ゴミ出しはね、あの一週に2回決まった日に持ってくんですけどね、あの一私雨の日なんか困るからね、金曜日の2時にここへ出しといたら前へ出しとくの、きれいにちゃんとして分別して、出しといたら持ってってくれるの。

調：金曜日、月一回？

J：金曜日、2時。

調：月一回？

J：いや、一週間に一回。

調：あ、そうなの。

J：ほんで間、月曜と木曜とあるしね。来て。その日も出してもいいの。だから助かってますねん。ケアマネから言うてくれて、申請した。

調：清掃の人が取りに来るわけ？

J：そう。

調：へー…。

J：やっぱりずっとそんな人ばかりとこ回るんだって。

調：あ、そんなんがあるんですか。

J：だから近所も回るし、2時までには置いといてくださいって。金曜日のデイはそのゴミをちゃんとしといて、帰ってきたらもうちゃんと持っていってくれます。あれは助かります。

調：助かりますね。

### 3) Bさん

調：あ、ゴミ出しなんかはどうされてるんですか？

B：そしたらね、一人暮らしの女の人にね、ゴミ出しはね、一週間にいっぺんずつ、あの、取りにきてくれはるんですよ。木曜日の2時15分ですって。

調：誰がくるんですか？

B：市から。

調：あの…清掃の方ですか？

B：うん、清掃の。ほんでね、私ね、「木曜日の2時15分からね、デイサービスに出でて留守にしてるんですよ」って言ったら、「若林さんがいなくても何の関

係もない」って。ケアマネージャーさんに言ったらね「何を言うてんの、水曜日にヘルパーさん来はるでしょ。ゴミをまとめてね、玄関の横にゴミ入れあるでしょ」って、ゴミをそこに入れとくんですよ。そしたらね、その大型ゴミやらあれやらで、ゴミの車があかないんですって。木曜日しかあいてないからって言ってね、ここに入れといたらね、取りにきてはる。

調：玄関まで置いてあるんですか？

B：うん、ここの玄関のよこにゴミ入れあるでしょ、そこにぼんと入れとくの。それでね、空き瓶でもなんでもいいの、袋にさえ入れといたらね、持って行ってくれはる。

調：それいいですね。

B：それも今年から。助かります。

調：それはどうされてたんですか？それ以前は？

B：Iさん（近所の方）に。だからね、しょっちゅうね、寒い時でしたけどね、もう臭くなるでしょう、そんなんだからね、2週間にいっぺんずつ、「Iさん、ゴミをまたお願いします」、「分かりました」って言ってね。それでね、玄関のここのとこに置くんすよ。で、新聞をここに入れてね、してくれはるんですよ。もう何でも言うてくださってね。で、もう、気が…ねえ。娘来たときは、ゴミはこの大きなは、車でくるから、古新聞からあれから全部、持って行って、ゴミ屋さんみたいや言うてね、お婿さんが車にのしてね、それでお婿さんもいい人ですからね、全部持ってってくれたりする。もうこのごろね。ここにさえ入れといたらね。

調：そうですか。今年から？

B：うん。助かる。ヘルパーさんの会社がそれしてくれはるんですよ。

調：ヘルパーさんの会社ですか？

B：うん。ヘルパーさんの会社が。ケアマネージャーさんに言ったら、ヘルパーさんの会社がそれを言い出して。ゴミを、頼んで。

調：市がやってるんですか？

B：うん、違う、市営。市へ頼んで、それから、あの…ヘルパーさんの会社がね、そういうふうにしてやってってくれて、一人暮らしは困るからっていう。

調：なるほど。ヘルパーさんの会社が要望して、市のほうが、そういう清掃の仕事を始めたんですね。聞いてみようか。いやあその、ゴミの話はね、お一人の方とか、弱った方はずいぶん苦労されてるっていうことを聞きましたね。

## (6) 施設サービス

今回調査した対象者の中には、これからの不安という項目で自分の健康状態が悪化し、一人で暮らせなくなった時のことを挙げる人がいた。施設サービスのことを調べていたり、ショートステイを利用してみたりしている人もいた。しかし、できるだけ自分の家で暮らしたいという意見が多かった。

### 1) Eさん

調：あとあと、ケアマネージャーさんなんかいろんなことおすすめしませんか？  
老人ホームとかありますよとか。

E：いやいやそんな違いまんがな。Rさんいうて日本の人と違うのんちゃいまっか。

調：ふ～ん、4万なんぼも（家賃で）出してるんやったら、それでもうホームの入所料ぐらいやね…そしたら全部あとはもう生活できるのにね。

E：そうやな…

調：あ、あんまりそんなこと考えなてないんですか？

E：私？

調：うん。

E：なんにも考えてへん。

調：そういうのあったらいいとかは？

E：あとはみんなね、「Eさん1回お泊り行かはったらどうえ？」て言わはんねん。

調：S（ショートステイ）のね、1泊2日、2泊3日、3泊4日のねお試しお泊りってね…

E：お泊り？そんなん知らん人に最初に「はじめまして、Eと申します、よろしくお願いします。」ってこれが嫌やねん、私。

調：(笑) そんなん今言わはったことでいいじゃないですか。

E：いやそれが最初慣れるまでがかなんやん。

調：ちょっと人見知りするんですか？

E：案外（笑）

調：案外…（笑）

E：口は達者なんやけどねえ。みんな「Kさんいっぺんお泊り…」って。でもそれ私、デイで隣の人がようお泊り行くって、ほんで、「あんたお泊り行って毎日風呂入れてくれるのか？」って「違う」って。「毎日入らへん」って、お泊りは。

## 2) Pさん

P：（3秒程間）今一番私がかまあ、一人で暮らしてるのに不安があるっていうのがね、やっぱりこう、なんかあったときにね、あの一、誰もいなかったら、どうしようもないから…。それが一番不安なことなんです。

調：（3秒程間）それはご自身のお体の事とかですかね？

P：そうです、体のことと、それと…やっぱり、先のことはねえ、言うてもしょうがないですけども、やっぱり、もうゆくゆく考えておかなあかんって、あとは、やっぱり自分が動けなくなったときにね、あの一、どういう手段をとったらいいか、やっぱり、私としたら娘一、いても、出来るだけ、あまり手をかけないで、自分で、まあ出来なくなったときには、なんかそういう施設にね、入りたいとは、思うんですけどね。ところが今、なかなか入れない状態でしょう？…で、言って有料のところは行けないし、お金がかかるから。やっぱ年金内で行けるとこて言うたら特養とか、そういうところになりますしね、老人ホームになりますし。そこは、まあ、なかなか皆さんに聞いてたら、なんか一、60人待ちとか80人待ちとか、なんか言われるから、なんで、そんななったら私いざ動けなくなったって入れへんやんとおもって。そのことが一番不安ですなえ。どうしたらいいかなあと思って。で、こないだもケアマネさんに聞いたら、結局は家で、自宅でヘルパーさんを増やして、来てもらって、あの一、暮らすしかしょうがないみたいなことをね、言われたから…。そしたらヘルパーさんて時間がねえ、終わったら帰られますよね。24

時間付いてくれはるわけじゃないし。看護師さんでないし、まあやっぱりそれも不安やし、どういう風にしたら、そういうところに入れるのかなと思ってね。やっぱり一番ん望むのは、そういう施設を増やしてほしいなって思うんです。

### 3) Cさん

調：あとはお聞きすることあったかな…？今一番困ってらっしゃることは何ですか？

C：もうホーム行きたいだけ。そやけどね向こうがね、時間がなかなか取れまへんねや。向こうは向こうの用事があるからね。もう57か8やで、もうあともうちょっと頑張らんとあ、今もしものことがあったらなあ…。

調：でもほんと決まったら安心ですよ。

C：決まったら安心。

### 4) Bさん (女性)

B：ケアマネージャーさんがね、Mホテルの今ね、あそこにあったりするんですけど、毎週式になってるんですって。6畳ほどでね、まあ、その代わりね、あの、まあ一通り、ガスは危ないけど、電気製品やらこんなが一通りあって、それが2千万から3千万ですって。

調：有料の老人ホームですね。

B：Fさん、そういうところは入ってるのかな。「私の係りじゃないからわからんけども、入ってはるんちがいますか」という話でね。

調：一般のね、普通の老人ホームとか、施設でもね、個室があつてね、なんかこの、昔とは違いますよ。個室があつて、自分の好きなものを送れたりする。なかなかいいところありますよ。

B：そうですね。去年の夏…去年の5月に…今年やな。いっぺん、一人で生活してるけどもね、もし共同生活だったらどんなかと思ってね、ケアマネージャーさんが申し込んでくれはって、3泊4日で行ったんですよ。私好きなようにしてんでしょ、そしたらね、3畳ほどの部屋で、カーテンで、向かいに男の人がいはるんですよ。こっちはね、いいんだけどね、もう何かを



おとしてるんですよ、もうそんなんでね、男の人ほけてるからね、もう夜中の12時にテレビかけたり、朝6時からもう、止めないで入ってるんです。

調：あちこちのをね、見学に行かれたらね、なんか、びったりのがあるかもしれませんが。最近ね、ちょうど私の母親も、行ってるんだけども、このぐらい、もっと広い部屋にトイレがあって、でその、真ん中にリビングみたいなところがあるんですよ。その周辺に個室がぼんぼん、と10部屋くらいあって、真ん中はみんなでリビングでいろいろする。それみんな終わったらみんな自分の部屋に入る。

B：カーテンでしょ？

調：いや、カーテンじゃない、普通のドア。うん。カーテンで閉め切ってるのは、大部屋で雑居部屋だから。ちゃんとドア。そういう個室式のね、あの…

B：マンションみたいのね、そのかわり2、3千万でね。いざというときはそういうのはね、都ホテルのあそこにも、3千万からね。みんなそういうふうになってるんですかね。

調：そんなとこじゃなくてもね、あの…ありますあります。桃山のほうにあるんですよ。桃山というね、あの…老人ホーム。そこも、そんな個室です。最新しいのはみんなそんな感じ。

B：うちにもこんなでてるからね、パンフレット見てるんですけどね。

調：有料老人ホームは高いんでね。高くても、ほんとに介護状態になった時には。

B：これ使わないってことは、車椅子に乗らなならんってことでしょ。そしたら普通のところでも車椅子の人はまた5万以上のお金がかかるし、風呂でも自分で入れないでしょ。なんとか入らずにここで死んで…って思ってるんですよ。だけどねえ、なかなか。まあねえ。

## 5) Gさん

調：このおうちの中で過ごすことはもう足腰がもっとも悪くなって大変な時はどうしましょう？

G：もうそれを心配するんですよ、1番ねえ。ほんでねえ、そういう施設にねえ、あの、行くとしましても結局はなんか、なんかまあ私なんか家売って行って

それで財産をそこで、あの、つぎ込んで、ほんで1週間であの目をつぶったとしても帰ってきへんってゆうてはりますねえ。やから、この子（同居人）がおるさかいそういうことはできませんしねえ。それからまあね、どうしもかな、

調：んー高い、老人ホームなんか、有料老人ホームなんかは2000万、3000万かかりますって言いますしねえ。普通の公的な老人ホームとか老健施設なんかは最近はいいですよ。

G：あ、そうですか。

調：個室があってねえ、ユニットケアとかいってこの真ん中にみんなが使うリビングルームがあってそこで食事するんだけど、それでも個室がある

G：いや、あの、蹴上でねえ、あのここから見学に連れて行ってもらったんですよ。

調：そうですか。デイから？

G：そうです。あの、それは先生がおっしゃるのと違ってものすごく高かったですよ。個室ですよ。ただお風呂だけが共同であとはみんな応接間もあったり、炊事場もあったりして。

調：それは有料、有料でしょうね、あの、有料

G：高かったです。

（省略）

G：はあ、もう、とてもやないけど手が出るところではないなあいう感じです。

調：そうじゃないとこもなかなか最近プライバシーに配慮したりなんかして…

### 3 まとめ

今回調査したのは一人暮らしの高齢者でかつデイサービス利用者であった。制度やサービスに注目してまとめてみたが、思っていた以上にたくさんのサービスが出てきた。様々なサービスに支えられながら生活していることがよく分かった。特に日常生活に関するサービスに対しては満足度が高かったり、必要だと感じていたように思う。例えば、デイサービスの食事や入浴、ゴミ出しサービスなどである。一人暮らしでかつ体が不自由な人にとっては生活を左右する大きな存在になっていると分かった。

また、デイサービスでレクリエーションをしたり、仲の良い利用者同士で話すことが生活に彩りを与えているということが分かった。「デイサービスに行くことが1番の楽しみ」という声も聞かれたようにデイサービスを心待ちにしている人もいた。デイサービスは食事や入浴、レクリエーションなどのサービスを提供する場であるが、“楽しく通う”ためには良好な人間関係を構築することも大切であると実感した。

体に万が一のことがあった場合のことについては不安に思っている人もいた。実際にケアマネジャーに話を聞いたり、ショートステイを試したりして準備をしている人もいた。デイサービスから有料老人ホームへの見学に行ったことがあるそうだが、特別養護老人ホームへの見学等も行い、今後体調が悪化した時に備えてのアプローチなども必要であると感じた。

様々なサービスを利用しているが、「なるべく頼らないようにしている」や「自分のためやと思って…」という発言から、自立して生活しようとしている様子が伺えた。家族と同居している人に調査していないので分からないが、しっかりしている暮らし振りという印象を受けた。